

開催します

終戦65周年戦没者追悼式

本年は終戦65年の節目の年です。本市出身の戦没者に対して哀悼の意をささげるため、「終戦65周年白石市戦没者追悼式」を開催します。どうぞご参列ください。

- 日時 10月15日(金)13:30~
●場所 中央公民館大ホール
●主催 白石市・白石市遺族会
●共催 白石市傷痍軍人会
☎福祉事務所 ☎22-1400

認知症の人と家族の支援について
~地域連携とネットワーク~

- 入場無料
高齢化とともに増える認知症。その理解を深めるために開催します。どなたでも参加できますので、ぜひお越しください。(17:30受付開始)
●日時 11月11日(木)18:00~20:00
●場所 しんきんホール(仙南信用金庫本店3階)
●内容 認知症専門医や薬剤師、地域包括支援センター職員の皆さんからお話を伺います。
●主催 仙南地域医療対策委員会 白石刈田支部委員会高齢者成人部会
☎健康推進課 ☎22-1362

ご利用ください
「みやぎっこ応援カード」

宮城県と県内市町村では、子育て家庭を地域全体で支援する環境づくりを推進するため、お店や企業のご協力をいただき「みやぎっこ子育て家庭応援事業」を実施しています。



- カードを提示すると
協賛店で買い物などをしたときに、「みやぎっこ応援カード」を提示すると、各店が工夫し設定した独自のサービスを受けることができます。協賛店には、みやぎっこ応援の店ステッカーやポスターが張られています。詳しくは、県の専用ホームページ「みやぎっこ応援サイト」(http://miyagikko.jp)をご覧ください。携帯電話からも利用できます。
●対象世帯およびカードの配布
中学3年生までのお子さまか、妊娠中の方がいる世帯。お持ちでない方は、子ども家庭課までお問い合わせください。なお、原則として1世帯1枚の配布となっています。
☎子ども家庭課 ☎22-1363

ソニー白石グラウンドを無料で貸し出しています

- ソニー白石セミコンダクタ(株)敷地内のグラウンドを、地域の皆さまに無料で貸し出しています(会員登録制)。クラブ活動など、健康づくりにぜひご活用ください。
また、工場見学(平日5名以上)も随時受け付けていますので、気軽にお問い合わせください。
●貸出場所 ①野球場、②サッカー場、③グラウンドゴルフ場
●利用時間 9:00~17:00
※土・日も利用可。ただし、ソニー白石一斉休日(年末年始・お盆など)は不可。
●利用料 無料
●申し込み方法 安全面から会員登録制としています。希望日の7日前まで、電話でお申し込みください。
●申込受付時間 平日(月~金曜日)8:30~17:30
●その他
・申し込みが重なった場合は先着順となります。
・道具の貸し出しはありません。
・ご利用の際は、万が一に備えて、スポーツ保険への加入をお勧めします。
●申し込み・問い合わせ先
ソニー白石セミコンダクタ(株)
総務部社員課 ☎22-1111

お知らせします

紙上からお礼申し上げます

生活基盤の整備や福祉事業などのため、次の方々からご寄付をいただきました。紙上からお礼申し上げます(敬称略)。
杉本 匡弘、ボランティアグループ 武家 代表 末谷 仁、同 佐藤 治雄、後藤 昭信、羽山碎石(株) 代表取締役 井上 勝次、菊池嘉雄、廣瀬榮子

地デジチューナーの無償給付支援

総務省では、経済的な理由などで地上デジタル放送(地デジ)に移行することが難しい世帯に対し、簡易なチューナー(1台)の無償給付などの支援を実施しています。詳しくは、お問い合わせください。
●支援の対象 生活保護世帯や障害者非課税世帯などのNHK放送受信料が全額免除となっている世帯
●支援の内容 地デジを受信するための「簡易なチューナー(1台)」の無償給付を行います。アンテナ改修経費などの支援も行います。
●申込締め切り日 12月28日(火)
※天候不順などの理由で支援(工事など)が遅れることがあります。支援を希望される方は、お早めにお申し込みください。
☎総務省地デジチューナー支援実施センター ☎0570-033840(平日9:00~21:00、土・日・祝日9:00~18:00)

2010自動車点検整備推進運動
しっかり点検、うまれる安心

~クルマのECO始めませんか?~
ドライバーの皆さん、車の点検・整備をきちんと行っていますか?
愛情こまやかな点検・整備が、人も車も、環境も守ります。適切な点検・整備を行うことで、車の燃費が2割程度改善されます。
☎宮城運輸支局・検査整備保安部門 ☎022-235-2513
http://www.tenken-seibi.com
点検整備 で検索!

小原の「百矢納め」
地域の誇りを次世代に

約400年の伝統文化
小原の「百矢納め」

「百矢納め」は、小原地区の熊野神社などの境内に的場を設け、その的に百矢を当てる弓の神事(奉射)に由来するものである。しかし、その起源については明らかではない。
伝承によれば、慶長年間(1596~1614)に小原村に居住していた野伏(小原二十騎と称されている)たちが、伊達政宗の白石城攻撃に味方して戦い(安永6年7月「刈田郡小原村代敷有之御百姓書出」、帰農後も弓矢の稽古に励み技を磨いてきたことが、百矢納めの起源になったともいわれている。
さらに、小原地区の神事に関する「古文書」においても、「元禄7年(1694)紙が破れ反故寸前になったので書写したものである」と記されている。このことから400年以前から行われていたものと推察される。
百矢を射通せば、米が百石(1石は2.5俵)採れるといわれ、五穀豊穡や家内安全をも祈って行われてきた。

伝統を守り続けるために
「小原弓道大会」

10月3日に開催される「百矢納め」を前に、8月22日、小原公民館弓道場で「小原弓道大会」が行われた。
22回目を迎えた本大会には、小原弓道愛好会(高橋正二会長)から17人が出場。個人戦と「百矢納め」が行われる神社ごとの団体戦とが行われ、矢が空気を裂いて飛ぶ音に命を懸ける音が響いていた。

新たな歩みが胎動する
「百矢納め」体験学習

9月3日・10日の両日、小原公民館弓道場で、小原中学校3年生の生徒を対象とした「百矢納め」体験学習が行われた。
生徒たちは、礼や立ち振る舞い、地域に根ざす心を学び、守り伝えることの意義の深さに託された、誇り高き精神を学んだ。
生徒は「百矢納め」体験学習を通して支え合うことが大事だと感じた」と話してくれた。
今回の体験学習は、地域との交流を通じてつながりや絆が生まれる契機となった。豊かな経験を持ち地域活動を支えてきた先人の役割は大きい。共に支え合い、つながりを深め、若い世代の感性がめばえ、新たな歩みが胎動することが期待される。

「小規模特認校」
小原小学校・小原中学校

小原小・中学校は、少人数の良さを活かした教育を行う学校として、「小規模特認校」に指定されている。児童や生徒、その保護者の希望により、居住地を変更せずに、全国どこからでも就学が可能。10月からは、市民バスも運行され、小・中学生の利用は無料。
☎小原小学校 ☎29-20026
☎小原中学校 ☎29-20027



1 「百矢納め体験学習」小原弓道愛好会会員が実技の基礎を指導 2 「百矢納め体験学習」小原弓道愛好会会員が実技の個別指導 3 「百矢納め体験学習」生徒一人一人が練習の成果を披露 4 「百矢納め体験学習」小原弓道愛好会講師の高橋純子さんから礼や立ち振る舞いを学ぶ 5 「小原弓道大会」小原弓道愛好会会長高橋正二さんの実技